

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和8年4月10日		～	令和8年4月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容を選択できる	子どもたちが主体となって活動内容を決定し楽しみながら身体を動かす事ができる。自分たちで決めたからこそ、負けた時にスムーズに受け入れる事ができたり、自分たちで時間を見ながら活動する事ができる。	夢中になって時間が分からなくなった際に声掛けを行ったり、職員も一緒にチームに入る事チーム差が生じないように助言を行っている。
2	活動内容の充実	平日・休日ともに様々な活動を計画し固定化されないように適宜特性や年齢に応じた活動を取り入れている。	活動に応じて得意・不得意がある児童に対応できるよう臨機応変に別ルールを設けたり、個物の活動ができるよう工夫していく。
3	子どもの特性に合わせた関わりを基本としつつ、保護者が何に困り、どんな成長を願っているのかを共有しながら支援を行っている。事業所での取り組みが家庭や学校生活につながるよう意識している。	家庭での行動パターンや学校での様子を聞き取り、事業所の支援に反映することで、子どもにとって一貫した支援環境になるよう工夫している。学校生活で求められるルールや集団参加のスキルを意識したプログラム構成を行い、学校生活へつながる支援を行っている。	学校での様子や目標を把握し、事業所での支援内容に反映することで、学校生活に直結する支援をより具体的に行う。学校や関係機関と連携が必要な場合は、情報共有の手段やタイミングを整理し、円滑な連携を進める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との関わりが少ない事	地域住民を招待してのイベント等を計画する事が中々できていない	地域の方々に向けてパンフレットなどで活動内容を報告したり、イベントを企画し活動を知ってもらう機会を設けたい。
2	地域の子どもの交流や放課後等デイサービス・児童館等との交流機会が少ない。	保護者のニーズ(宿題対応や学習支援)に応えることを優先しているため、プログラムの時間配分が交流に割けない状況になっている。	平日での交流が難しい場合、地域のイベントや交流会の情報を保護者へ共有し、家庭と連携した参加を促す工夫を行う
3	保護者向けの家族支援プログラムや情報提供の機会が十分に整っていない。	保護者のニーズが多様であり、どの内容をどの形式で提供するか整理が必要な状況である	保護者支援の内容や目的を整理し、参加しやすい形式・時間帯での講座や相談会の実施や、家庭での支援につながる情報提供を充実させる必要がある。